



7/10 Hirado City Photo News 平戸市の課題について考える



7月10日から平戸市内7カ所で市政懇談会が開催されました。市政懇談会は、2年に1度、平戸市内各地区で、市政に対する市民の皆さんの意見を聞く場として開催しています。今回は、「空き家問題に対する取り組み」、「“ゼロカーボンシティひらど”の実現へ」、「さらに便利な市役所へ(DXの推進)」、「地域医療の再構築に向けて」などのテーマについて黒田市長が説明し、意見交換が行われました。

7/4 Hirado City Photo News 100団体目の設立を祝う



地域住民が気軽に集い、「平戸よかよか体操」や茶話会、レクリエーションなどの介護予防活動を行う、「住民主体の通いの場」の団体設立100団体記念交流会が山内公民館で行われました。交流会では、通いの場設立1団体目の「職人町すこやかサロン」と、100団体目に設立した田平町山内地区「百桜会」に加えて、地区役員や介護予防インストラクター、生活支援コーディネーターが住民主体の通いの場のこれまでの歩みを再確認し、活動の広がりを祝いました。

6/29 Hirado City Photo News 戦没者の魂に平和を誓って



平戸文化センターで令和6年度平戸市戦没者追悼式が開催され、遺族や来賓など約230人が参列しました。式典では、遺族を代表して、坂野博司さんと石井一彦さんがご霊前に献花し、平戸市連合遺族会の太田正喜会長が追悼のこたばを捧げました。また、田助小学校5・6年生が「平和への誓い」を宣誓し「折り鶴」を合唱。その後、平戸中学校吹奏楽部生徒の追悼演奏が行われ、戦没者の遺徳を偲ぶとともに、平和への思いを新たにしました。

6/26 Hirado City Photo News 介護に従事する人材を応援



平戸市役所3階会議室で、令和6年度平戸市介護職人材確保支援事業賞賜金交付式が行われました。市内における介護職の人材確保のため、平成30年度から行われているもので、令和4年度から「30歳以下の新規採用職員」、「満31歳以上50歳以下で過去に介護職勤務経験がない新規採用職員」などへ対象が拡大されました。今回は、新たに就業した3人の介護従事者に賞賜金が交付され、平戸市の介護を担う若手人材の皆さんを激励しました。

7/14 英雄の生誕地での盛大なうたげ



鄭成功記念館前特設会場で「かまぼこフェスタ400」が開催されました。かまぼこフェスタは例年、鄭成功まつりの前夜祭と併せて開催されていますが、今回は鄭成功生誕400周年記念事業の一環として、規模を拡大して開催されました。当日は、悪天候にもかかわらず、国内外から訪れた多くの皆さんが、軒を連ねた屋台のご当地グルメを片手に、eスポーツ大会やよさこい、ダンス、変面ショー、中国福建省の髪飾り簪花團(かんざしがい)体験などのアトラクションを楽しんでいました。

7/13 Hirado City Photo News 地元の応援で大勝



プロ野球独立リーグ「ヤマエグループ九州アジアリーグ」に所属する「北九州下関フェニックス」のホームゲームが、昨年に引き続き平戸市総合運動公園「赤坂野球場」で行われました。冠スポンサーを務めた平戸商工会議所青年部松尾俊介会長の始球式、渡口直樹副会長の国歌独唱、南部中学校吹奏楽部の応援など、さまざまなイベントで盛り上がりました。佐賀インドネシアドリームズとの試合は、北九州下関フェニックスが10対0と無失点7回コールドで勝利しました。

7/3 Hirado City Photo News 犯罪のない社会の実現へ



平戸市役所で、「第74回社会を明るくする運動」の総理大臣メッセージ伝達式が行われました。この運動は、犯罪や非行の防止とあやまちを犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くことを目的としています。伝達式では、平戸・松浦地区保護司会平戸分区会長の松尾清隆会長が、松田副市長へ総理大臣メッセージを伝達しました。また、7月3日から9日まで、平戸城が運動のイメージカラーである黄色にライトアップされました。

7/1 Hirado City Photo News さまざまな分野で連携



平戸市役所3階会議室で、「平戸市と日本郵便株式会社との包括連携協定締結式」が開催され、「安心・安全な暮らしの実現に関すること」、「地域活性化に関すること」、「未来を担う子どもの育成に関すること」などの5分野で、平戸郵便局塩崎巖局長・田平郵便局古川博喜局長と黒田市長が協定書を交わしました。また、「鄭成功生誕400周年記念オリジナルフレーム切手贈呈式」も行われ、長崎地方本部安永伸也本部長から市長へ記念切手が贈呈されました。